

重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)	市民一人ひとりがごみ問題を自分の問題として捉え、マナーを守っている	
施策名	ごみ排出マナーを向上させる	No.26

年度	平成28年度
責任部長	環境部長
主担当課長	清掃対策課長
関係課	—

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標	指標のめざす方向	現状値		実績値				目標値	
		H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後	
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後	
ごみに関するマナーを守っていると思う人の割合(%)	→	97.2	96.9	97.3	97.7	97.7	98.1	98.0	
		98.1	98.7	98.6	98.4	98.0		98.5	
警告シールの貼付数(枚)	→	83,319	61,109	143,678	130,543	131,263	126,175	74,492	
		126,175	130,388	117,623	122,511	95,366		118,137	
不法投棄ごみの回収量(t)と回収回数(回)	① 回収量(t)	→	401.4	325.7	134.1	156.6	103.1	142.0	357.2
			142.0	141.3	104.7	146.6	64.4		91.8
	② 回収回数(回)	→	612	374	551	640	474	374	522
			374	291	323	302	299		419

2. 外的要因(世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等)

リサイクルやごみ減量に対する関心も高まりを見せ、適正分別の必要性の認識は高まっている。また地域の環境や景観保全の関心も同様である。

3. めざすべき姿に対する現状評価(まちづくり指標や外的要因等からの評価)

現状評価	A 改善傾向	「ごみに関するマナーを守っていると思う人の割合」は平成20年度からごみの出し方分け方のルールを全市域で統一、指定ごみ袋制度も導入により、ごみと資源の分別意識が高まり、排出マナーも守っていると思う人の割合は高く維持している。また、警告シール枚数は、排出者に分別ルールの徹底を周知するため、違反内容物を表記した違反シールを添付した結果である。「不法投棄ごみの回収量と回収回数」については不法投棄物の早期発見・回収に努めたためである。
-------------	------------------	--



4. 事務事業群に対する評価(行政活動の評価)

長期成果(事業群①)	長期成果(事業群②)	長期成果(事業群③)	長期成果(事業群④)
評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題(めざすべき姿)の一手前前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。		
評価			
次年度の改善計画			

市民からみた計画の進捗状況 □A □B □C

- ・A判定(改善傾向) 66%
- ・B判定(停滞) 28%
- ・C判定(悪化傾向) 6%

